

新潟県聴覚障害者地震復興支援本部ニュース

NO. 8

平成17年3月2日発行

第2回被災地の聴覚障害者交流会開催

2月6日被災者を招待しての温泉交流会を第1回と同じく大湯温泉の「村上館」で行いました。2月1日に豪雪が被災地を襲い、2m80cmの積雪で心配されましたが、全員が元気に会場に到着して対策本部も胸をなでおろしました。本部役員として新潟市を8時に出発しましたが、小千谷、川口を過ぎる頃から凄い雪の壁で高速道路の標識もよく見えず「すごい！すごい！」と驚くよりもショックを受けました。19年振りの大雪とのことです。いたる処で雪掘りをやっており、地震被害の上に毎日の除雪で大変な生活がしのばれます。

会場には58名が参加し、片倉医師からインフルエンザとノロウィルスの感染症についてクイズ形式の学習を行いました。クイズを当てた人は、医師が持参した賞品を頂き、座が賑わいました。開宴前に健康相談、そして対策本部事務局が参加者に被災時の感想などインタビューしました。

皆、気持ちよく応じてくれたので、嬉しかったです。特に三洋電子(株)の皆さんが職場に復帰できたことには安心しました。皆さんが今でも少しの何かの揺れがあると、地震！と胸がギュッとすることとで心理的にも引きずっていることがわかります。これからも尚、心の支援が必要と思われます。宴会では久しぶりに元気な仲間同志の会話が弾み、「やっぱり仲間がいることは何につけても心強い」と私たちも元気をもらいました。

短い交流時間を惜しみながら、雪の大壁の中、それぞれバスで帰途につきましたが、見送りながら皆が元気で春を迎え、少しでも早く元の生活に戻って欲しいと願いつつ4時頃、本部役員も新潟に向かいました。

対策本部事務局

「痛み」はむずかしい

他人の痛みはわかりません。なぜなら自分は痛くないから。

第2回の新潟被災者交流会の健康相談には、いろいろな痛みが出てきました。

19年ぶりの大雪で雪かき痛。仕事をするとどうしても肩と腕が痛くなる。以前の事故の後、右半身が痛い。重いものを持つ仕事で数年前から腰が痛い(コルセット、ベルトということも初めて聞いた)。重複障害をもつ家族に情報を伝えようとして疲れて痛い。なんだかわからない指のむくみで痛い。

痛みは、すぐに解決しないものも多く、治りますかという質問に医師は答えにくいもの

です。でも、痛みについては納得するまで医師に聞いたほうがいいと思います。手話通訳も同行した方が質問しやすいように思います。今回は湿布を配りました。次回は私の職場の同僚であるマッサージ師と一緒にうかがうのもいいかなと思っています。

聴障・医ネット 片倉和彦医師(栃木県双葉会診療所)

看護師の立場から

東京発 7時12分 ときMAXで出発し、越後湯沢着 8時24分、上越線は19年ぶりの大雪のため不通、越後湯沢から片倉さんの車で村上旅館へ向かい、10時50分頃到着しました。

交流会参加者は11時予定のバスが到着せず、本田氏と打合せ後、11時20分頃皆さんが到着し、11時40分の開始となりました。全体人数は前回と同様とのことですが、詳細は伺いませんでした。(忙しそうにしていたので聞けませんでした)

片倉さんが、前回と同様に景品付クイズ形式で、感染について話しました。前回片倉さんの手話が良かったとのことで、急遽通訳はつかないことになり内容をさらにいただいたものに変更し、皆で楽しみました。(予定時間オーバーでまきが入る)

相談希望者は8名、当日希望者1名でしたが、「不眠」などの症状を記入された方はキャンセルされました。

聴覚障害者7名(肩こり、腕の痛み、腰痛、マッサージ希望?など痛みの訴えがほとんどでした)、健聴者1名(手管根症候群)。

しかし、痛みに隠された雪下ろしを手伝ってくれない家族のことや病院で診察や検査を受けているのに、説明が簡単にあっただけで納得できなかった方、マッサージがあると聞いてきたのに医療相談だった、などなど・・・。

じっくり話を聞いている片倉先生の診察に巻きが入るなど、地元の方は本来の患者さんの訴えたいことに思いがいかないのかなと思える場面があった様に感じました。(時間的に無理なのかもしれませんが)

災害後のフォローと言うより、これがきっかけで今までの状況(災害前の)じっくり話を聞いて欲しいのでは・・・普段の受診の結果が伝わっていないので・・・地元の方や家族の方に継続してフォローしていただきたいな・・・など相談者さん一人一人に思いがいてしまいます。時間をかけた医療相談など地元の医療班(あったような?)などとつなげると良いなと思いました。

マッサージを希望された方は、つたない肩モミと、地元の通訳者を交えたおしゃべりで、少しすっきりされた様に思えました。頸腕体操などストレッチも効果があると話したり、盲ろうのご主人の通訳や生活での苦勞、職場での孤独、仲間の前では笑顔でないと・・・など地元通訳者を交え聞いたことで今後も前向きに何かをと思っていただけたようでした。

聴障・医ネット 高田 智子(全通研 千葉県支部医療班)

間に合わない

大雪で運休相次ぐ鉄道各線 利用者、JRうんざり

十九年ぶりの大雪に見舞われた県内は、JR線の一部で除雪作業が難航し、上越線や只見線などで二週間ちかく運休が相続している。中越地震に次いで豪雪。災害の連続にJR関係者は悪戦苦闘する毎日。『除雪しても後ろからみるみる積もり、除雪ができる状態ではなかった』JR東日本新潟支社は記録的な豪雪に頭を抱える。

(新潟日報2月11日朝刊)

日 報 抄

これはもう「雪下ろし戦争」といわなければならない。交通事故の死者を上回る勢いで雪下ろしや除雪でなくなる人が県内で増えている。九日現在の死者数は十七人を数える。いくらこの冬の雪が多いといっても尋常ではない。警察や市町村はチラシなどを配って事故防止を呼び掛けているが止まらない。雪はまだあと一カ月近くは続く。県警地域課によると、一九八四年度には、なんと四十八人が亡くなり、三百七十三人がけがをしているという。中越地震の犠牲者よりも多い。大災害級の死者数である。しかも、自宅の雪下ろしで事故に遭っても、自分が加入している保険や共済以外は何の補償もない。滑る高所で重い雪を処理するのは、熟練者でも簡単な作業ではない。大屋根によじ登るときや、屋根の端の雪を処理するときが特に危ない。少雪が続き、雪下ろしの勘が鈍っているのかもしれない。臆病なくらい慎重に作業を進めてほしい。ちょっとした油断が大事につながる。

(新潟日報2月10日朝刊)

住宅修理制度一カ月間延長

県は十日、中越地震で自宅が大規模半壊、半壊した世帯に修理費を補助する国の住宅応急修理制度について、工事完了の期限が三月二十二日まで一カ月間延長されたと発表した。同制度は延長が原則一カ月以内と規定されており、延長は昨年十月二十三日の地震発生以来、これで四回目。被災地が大雪に見舞われ、修理が進まないことから県が国に延長を要望していた。県は「約九千世帯の申請者のうち45%しか完了の見通しがたっていない。全戸完了まで要望を続けたい」としている。同制度は災害救助法に基づき、地震の被災世帯に六十万円を限度に補助する。これに県が最高で百万円を上乗せする制度は一月、冬季間の雪による影響を考慮して工期を三月末まで延長した。

(新潟日報2月11日刊)

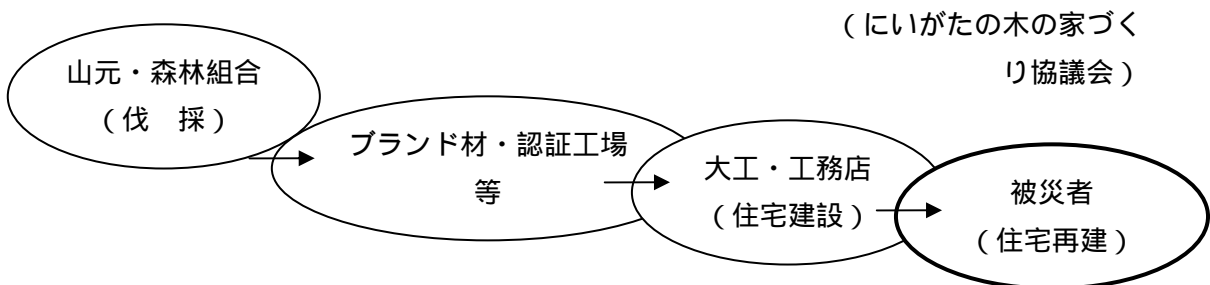
聴覚障害者地震復興支援本部の主な動き

- 1月21日 FAX 機器1台 手話関係者(魚沼市)に発送
1月25日 FAX 機器1台 手話関係者(長岡市)に発送。残り1台。
1月26日 被災・罹災証明取得状況一覧表整理
1月28日 第5回地震支援本部会議の案内通知
 水害・地震における県、放送局への要望書の写しを財団法人全日本ろうあ連盟へ送信。
2月1日 小千谷市三洋電子(株)勤務の聴覚障害者5名より勤務開始の連絡あり。待機1名。
2月2日 1日より強い寒気襲来で被災地は19年振りの大雪となり、十日町市は積雪2m99cm
 を記録。被災地の住宅倒壊は32棟となり、これから被害が増える心配あり。
2月6日 第2回被災地の聴覚障害者温泉交流会を実施。参加者総勢58名。
2月8日 FAX 機器1台 手話関係者に発送。(最後の1台)
2月9日 栃尾手話サークルへ栃尾の聴覚障害者被災状況について確認のお願い文書を送付。
2月10日 小千谷市の手話通訳派遣コーディネーターより被災聴覚障害者の訪問調査(心のケア
 など)報告あり。
2月15日 「第6回幹事会」開催

“越後杉”で家づくりを進めましょう!! ~新潟県からの

お知らせ~

このたび、“雪に耐え、年齢を刻んだ強い強度の県産スギ”を「越後杉」と呼びたいと思
います。



<被災者のみなさまへ>

「越後杉」の家づくりをされた方には、使った量に応じて、100万円を限度に応援しま
す。

<支援を受けるには?>

中越大震災の被災者であること

「越後杉」を使うこと

柱や梁は、「狂わず、ゆるまず、ひび割れない」乾燥した越後杉を使いましょう。

<被災されたみなさまへ>

交付手続きが簡単にできるようにします！

詳しくは、市町村の窓口にご相談ください！

なお、以下の窓口でも相談に応じています。

新潟県 長岡地域振興局 (農林振興部林業振興課)	電話 直通 0 2 5 8 - 3 8 - 2 5 7 2
	電話 直通 0 2 5 8 - 3 8 - 2 5 7 3
新潟県六日町地域振興局 (農林振興部林業振興課)	電話 直通 0 2 5 - 7 7 2 - 8 2 6 2
	電話 直通 0 2 5 - 7 7 2 - 8 2 6 3

罹災証明・被災証明受領済みリスト

平成17年2月19日現在

(聴覚障害者)

[単位:件]

地 域	受 領	被 災 状 況		
		全 壊	半 壊	一 部 損 壊
長 岡 (見附・栃尾含む) (難聴協会会員 3件含む)	57	0	10 (大規模2)	47
小千谷 (難聴協会会員 1件含む)	18	0	4 (大規模2)	14
十日町	14	0	2	12
柏 崎	3	0	1	2
その他	1	0	0	1
計	93	0	17	76

(健聴者)

【単位:件】

地域	サークル名	受領	被災状況		
			全壊	半壊	一部損壊
長岡	手話サークルあゆみ	30	0	1	29
	手話サークル虹	44	1	6	37
	長岡市手話サークル	18	0	2	16
	長岡要約筆記サークル	29	0	3	26
小千谷	小千谷手話サークル	23	5	4	14
	小千谷市要約筆記サークル	11	0	1	10
十日町	十日町手話サークル	8	1	0	7
柏崎	手話サークル柏の会	3	0	0	3
見附	見附市手話サークル	9	0	3	6
計		175	7	20	148

事務局からのお知らせ

中越地震聴覚障害者義援金の県内カンパ

2月17日現在 946,205円

3月15日まで募金を受け付けております。ご協力よろしくお願いたします。

新潟県聴覚障害者復興支援対策本部

電話025-381-1956

FAX025-381-4699

E-mail niigata-roukyou@helen.ocn.ne.jp

豪雪スナップ

No.1



3 m ~ 4 m 屋根まで積雪すご～いなあ！



大湯温泉「村上屋旅館」駐車場



小出 I C 前通り



大湯温泉方面へ県道

豪雪スナップ

No.2



川口町 17号国道 大雪が降る



毎日雪ほり、雪下ろし...。がんばるぞ！



十日町市 民家 雪下ろし



小千谷市 民家 小型除雪車